

参考資料

令和3年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	令和3年度	令和2年度	伸び率
予算総額	10,602,012千円	10,807,032千円	△1.9%
一般会計構成比	0.5%	0.6%	—

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 未来への希望を実現する

P 1 一部新規 DV被害者等への支援の促進【男女共同参画課】 49,430

2 生活の安心を高める

P 2 一部新規 県民生活部における新型コロナウイルス感染症対策
【広聴広報課、文化振興課、国際課、オリンピック・パラリンピック課】
1,060,404

P 3 防犯のまちづくりの更なる推進【防犯・交通安全課】 40,482

P 4 交通事故防止対策の推進【防犯・交通安全課】 17,338

P 5 消費者被害対策の推進【消費生活課】 156,138

P 6 女性の貧困問題への支援【男女共同参画課】 8,409

3 人財の活躍を支える

P 7 新規 誰でも国際交流 埼玉版SDGsの推進【国際課】 3,570

P 8 一部新規 子供たちの夢を育むリアルな職業体験【青少年課】 5,878

4 魅力と誇りを高める

P 9 一部新規 埼玉150周年記念事業の実施【広聴広報課】 39,444

P 10 埼玉の魅力発信する文化プログラムの推進【文化振興課】
84,953 (一部再掲)

P 11 一部新規 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催
【オリンピック・パラリンピック課】 1,840,532 (一部再掲)

P 12 一部新規 スポーツ活動の推進【スポーツ振興課】 60,128

P 13 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備の推進【スポーツ振興課】
15,183

P 14 一部新規 基金を活用したNPO支援の推進【共助社会づくり課】 13,100

P 15 一部新規 LGB T Q等性の多様性の理解促進とアライの見える化
【人権推進課】 5,869

DV被害者等への支援の促進

担当 男女共同参画課 推進・DV対策担当
内線 2925

1 目的

コロナ禍によりDVの増加や深刻化が懸念されている。そこで、DV被害者や困難な状況にある女性を支援する民間シェルター等の体制強化やDV被害者及び同伴児童へのケアの充実を図り、DV被害者等への支援を促進する。

2 事業内容

DV被害者等に対する自立支援強化事業（一部新規） 5,674千円

- ① DV被害者等を支援する「自立支援サポーター」の養成・登録制度の構築
民間シェルターや地域で、DV被害者等の自立支援活動を行う「自立支援サポーター」の養成・登録制度を構築し、自立支援活動の促進を図る。
(対象：女性支援団体等 20人)
- ② 「自立支援サポーター」の民間シェルター等運営団体でのインターンシップ
インターンシップを実施し、団体スタッフとしての定着を図る。
(対象：10人)
- ③ 婦人相談センター「生活リスタート準備講座」の実施
退所後の社会生活への再スタートにあたり、心のケアを行い、就労に向けて一步を踏み出すための講座を実施

民間団体によるDV被害者支援事業費 18,396千円

- ① 民間団体活動事業費補助金の充実
様々な困難を抱えるDV被害者への支援を強化するため、民間シェルター等運営団体に対する家賃や人件費等運営費補助を増額（1か所 1/2補助 40万円→60万円）
- ② DV被害母子の心のケアを行う心理教育プログラムの実施
心のケアにより、自立への活力を引き出すプログラムを民間団体へ委託
- ③ 民間団体及び市町村との情報交換会の実施
DV被害者が身近な地域で支援を受けられる体制を強化するため、民間団体の相互交流を図るとともに、民間団体と市町村との連携を促進する。
- ④ 配偶者暴力被害者等セーフティネット強化支援事業費補助金
民間シェルター等の先進的な取組を促進するため、国庫補助金により事業費を助成

DV対応と児童虐待対応との連携強化事業費 25,360千円

- ① 同伴児学習等支援事業
婦人相談センターで一時保護したDV被害者に同伴する児童に対して必要な学習機会を提供するため、学習指導員の配置や学用品等を整え、学習環境を整備する。
- ② 婦人相談センターの安心・安全の確保
DV被害者及び同伴する児童を安心・安全に保護するため、24時間警備を行う。
- ③ 民間団体による継続的自立支援
DVや児童虐待により精神的な影響を受けている被害親子に対し、相談・情報提供、行政機関や学校等への同行支援、心のケア等の継続的自立支援を民間団体に委託。

3 予算額 49,430千円

県民生活部における新型コロナウイルス感染症対策

担当 広聴広報課 テレビ・ラジオ・広報紙担当
文化振興課 文化創造・発信担当
国際課 多文化共生・NGO担当
オリンピック・パラリンピック課 総務・企画担当
内線 2858、2882、2714、2893

1 目的

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止等を図るための特別広報、文化芸術団体等への支援、外国人向け相談、東京2020大会における感染症対策などを行う。

2 事業内容

新型コロナウイルス感染症ウェブ媒体広報費（新規）	50,700千円
県政広報テレビ放送費（感染症対策部分）	94,812千円
県政広報ラジオ放送費（感染症対策部分）	25,267千円
新型コロナウイルス感染症紙媒体広報費	128,979千円

感染拡大防止等と呼び掛ける特別広報を実施

- ・SNSを中心としたWEBによる情報発信
- ・テレビやラジオのスポットCMの制作放送、新聞紙面広告などによる情報発信

文化プログラムリーディング事業費

70,918千円

埼玉WABI SABI大祭典2021の開催

伝統芸能、着物、盆栽、生け花、茶道など、埼玉の「和」の文化を一堂に集めたイベントの開催。新型コロナウイルス感染拡大により発表の機会を失った文化芸術団体等に対する発表の場の提供。

【開催日】令和3年9月4、5日(予定) 【開催場所】大宮公園ほか

【事業内容】

- ・特設ステージにて盆栽パフォーマンスや伝統芸能等の上演
- ・着物、野点、盆栽、生け花等の体験やワークショップなど
- ・開催時の新型コロナウイルス感染症対策



書道パフォーマンスの様子

外国人総合相談センター設置事業費

20,926千円

「外国人総合相談センター埼玉」の運営

生活相談、専門相談(入管制度、労働問題、法律)等に11言語で対応
〔受付〕月～金曜日、9～16時(祝日・年末年始除く)

「外国人向け新型コロナウイルス相談ホットライン」の運営

新型コロナウイルス感染症に特化した電話相談窓口を運営。受診・相談センター等の専門窓口とつなぎ、電話通訳を実施。

〔受付〕土日祝日を含む24時間



東京オリンピック・パラリンピック推進事業費（感染症対策部分）（新規）

668,802千円

国が定める選手等の入国特例や検査等のルールに沿ったホストタウン・事前キャンプ地での新型コロナウイルス感染症対策及び聖火リレーや都市ボランティアなど県の取組における新型コロナウイルス感染症対策の実施

3 予算額 1,060,404千円

防犯のまちづくりの更なる推進

担当 防犯・交通安全課
防犯・犯罪被害者支援担当
内線 2942、2945

1 目 的

第4期「防犯のまちづくり推進計画」が策定され、悪質巧妙化する特殊詐欺や全刑法犯の約3割を占める自転車盗などの重点犯罪等抑止対策の強化を図るため、防犯効果が極めて高い防犯カメラの設置促進、特殊詐欺対策機器の普及促進、自主防犯活動の活性化など、犯罪を起こさせにくいまちづくりを推進して、県民の安全・安心を確保する。

2 事業内容

防犯環境整備事業費

36,896千円

① 市町村と連携した防犯環境の整備

市町村が実施する防犯カメラの設置や特殊詐欺被害防止対策事業を中心とした防犯事業経費の一部を補助して防犯環境の整備を図る。

- ・犯罪の抑止効果が高く、社会的関心や需要が高い防犯カメラの公共空間への設置を促進
- ・犯人からの電話をシャットアウトして被害を防止することができる特殊詐欺対策機器の普及促進
- ・自主防犯活動団体（わがまち防犯隊）への支援

② 自主防犯活動の活性化

県民、事業者等による地域での自主防犯活動の活性化を図る。

- ・県民の自主防犯活動への参加促進
- ・青パト活動を開始する団体等へ青色回転灯等装備品の提供
- ・防犯協定事業者による地域の見守り活動等の推進

③ 重点犯罪等抑止対策

県民への防犯対策の啓発強化、効果的な情報発信により防犯意識の高揚を図る。

- ・悪質巧妙化する特殊詐欺や全刑法犯の約3割を占める自転車盗などの犯罪被害防止対策の啓発強化

防犯のまちづくり推進事業費

3,586千円

○ 犯罪を起こさせにくいまちづくりの推進

防犯意識の普及啓発や住民による防犯活動の促進、市町村、県民、事業者との連携等により、犯罪を起こさせにくいまちづくりを推進する。

- ・防犯のまちづくりの普及啓発
- ・わがまち防犯隊レベルアップセミナーの開催
- ・防犯のまちづくり推進会議の開催
- ・事業者等との連携による防犯活動推進

3 予算額 40,482千円

交通事故防止対策の推進

担当 防犯・交通安全課
総務・交通安全担当
内線 2951

1 目的

歩行者の交通事故防止を図るため横断歩道における歩行者優先の徹底を周知するとともに、高齢運転者の安全運転の確保、運転免許返納促進を推進し、県内の交通事故防止を図る。

2 事業内容

交通事故ゼロの安心・安全な埼玉創造事業費

13,808千円

交通安全啓発、交通死亡事故多発時の緊急対策等を推進し、県内の交通事故抑止を図る。

- ・横断歩道における歩行者優先意識の周知・啓発
- ・交通事故多発市町村における関係機関の連携による交通事故防止対策の推進
- ・幹線道路等における交通安全意識高揚のための広報

高齢運転者の安心・安全事業費

3,530千円

① シルバー・サポーター制度の周知、協賛事業者拡大

高齢運転者による事故の未然防止のため、県警察が行うシルバー・サポーター制度が一層活用されるよう制度の周知により、免許返納の促進を図る。

② 高齢者運転免許自主返納サポートセミナー等の実施

- ・地域包括支援センター等を対象に、返納手続き等に関するセミナーを開催して、センター等が高齢者の免許返納等について相談を受けた際の対応を支援する。
- ・専任職員が市町村や地域包括支援センターからの相談に応じ、個別支援や県政出前講座などを実施する。

③ 交通安全教育・啓発推進事業

専任の職員が高齢運転者を対象とした県政出前講座を実施するとともに、衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置等の正しい理解と普及の促進を行い、高齢運転者による事故防止を図る。

3 予算額 17,338千円

消費者被害対策の推進

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2935

1 目的

消費者の安心・安全を確保するため、県・市町村の消費生活相談体制の充実・強化を図るとともに、悪質事業者に対する行政指導・処分を行う。

2 事業内容

消費者の安心・安全サポート事業費

4,873千円

① 消費生活相談の実施

- ・「消費生活相談員」や「主任消費生活相談員」による相談窓口の充実
- ・「苦情処理アドバイザー」の活用

② 悪質事業者対策の推進

- ・「不当取引専門指導員（警察官OB職員）」の活用
- ・「悪質事業者対策専門アドバイザー（弁護士等）」の活用

消費者行政活性化事業費

37,739千円

① 消費者教育の充実

- ・学校連携等による消費者教育
- ・成年年齢引下げを見据えた消費者教育
- ・高齢者・成人一般に対する消費者教育

② 市町村支援の強化

- ・主任消費生活相談員による市町村巡回訪問などの相談体制の強化
- ・不当取引専門指導員による悪質事業者対策

高齢者等見守り促進事業費

18,526千円

- ・地域における高齢者等の見守りや消費者被害防止の啓発活動
- ・消費者団体等と連携した消費者被害防止サポーターの支援

消費者行政活性化補助事業費 <市町村補助事業>

95,000千円

消費者行政の活性化の取組を行う市町村に対する補助

- ・消費生活相談体制の充実・強化
- ・重要な消費者政策の支援

3 予算額 156,138千円

女性の貧困問題への支援

担当 男女共同参画課 推進・DV対策担当
内線 2927

1 目的

貧困の連鎖解消のため、シングルマザー等が孤立や不安を乗り越え、前向きに活動するための支援を行うとともに、女性の貧困問題の解決に向けた支援の輪を広げる。

2 事業内容

女性の貧困問題支援事業費

8,409千円

① シングルマザー等への支援

・ 生き方セミナー

結婚生活の継続に困難が生じたときに適切な判断ができるよう、必要な知識を習得するとともに、自分にとって最善な生き方を選択するためのサポートを行う。

・ グループ相談会

自立や就業に向けて前向きに活動するための精神的サポートを行う。

② 働きづらさ・生きづらさを抱えた女性への支援

・ 将来計画設計講座

自身が抱える悩みを解消し、希望を持って将来を計画し、貧困に陥ることを防ぐための講座やグループ相談会を実施する。

③ 女性の貧困問題支援者の拡大

・ 女性の貧困問題講演会

子供の貧困の背景にある「女性の貧困問題」の現状や課題への理解を深めることができるよう、貧困問題の支援者等を対象とした講演会を開催する。

・ 女性の貧困問題解消のための女性リーダー育成事業

地域で活動している女性が、「女性の貧困問題」やそれに付随する子供の貧困問題解決に向けた活動を行えるよう、人材を育成する。

④ 市町村の取組支援

地域における男女共同参画の推進のため、市町村職員及び地域の活動団体の構成員を対象に研修を実施する。

3 予算額 8,409千円

誰でも国際交流 埼玉版SDGsの推進

担当 国際課 国際戦略担当

内線 2713

1 目 的

スポーツやオンラインの活用により、国際交流へのハードルを下げ、希望する人に幅広く交流の機会を提供する。多様な文化や価値観に触れる機会を創出し、若者が柔軟な思考力や高いコミュニケーション能力を身に付けるきっかけにつなげる。

2 事業内容

誰でも国際交流 埼玉版SDGs推進事業費（新規）**3, 570千円**

① 国際スポーツSDGs推進事業

県内プロスポーツチームが実施する国際親善試合等に合わせ、海外スポーツ選手等と県内の若者・子供たちが交流する機会を提供

② 姉妹友好州省との交流等を通じたSDGs人材育成事業

姉妹友好州の大学の講義にオンラインで参加するほか、現地の学生との交流を通じて多様な文化や価値観を理解し、コミュニケーション能力を高める機会を提供

3 予算額 3, 570千円

子供たちの夢を育むリアルな職業体験

担当 青少年課 健全育成支援担当
内線 2357

1 目的

次代を担う子供たちを対象に、企業や大学、子ども食堂等と連携してリアルな職業体験を提供し、見えないチカラ（チャレンジ精神や創造力、忍耐力等の非認知能力）を育成するとともに、貧困の連鎖解消と夢の実現を支援する。

また、子供の体験活動に取り組む企業等を開拓・支援し、体験機会の創出と気運の醸成を推進する。

2 事業内容

見えないチカラを伸ばし夢をつかむリアル体験事業費（一部新規）

5,878千円

子供たちの非認知能力を育むとともに、貧困の連鎖解消と夢の実現を支援するため、本県ゆかりの一流のプロフェッショナルによるリアルな職業体験を提供する。

① リアル体験教室（企業等と県の共同実施）

県は、企業や大学等と共同でリアルな職業体験を実施する。また、生活困窮世帯の子供たちの参加を促すため、子ども食堂やジュニア・アスポート教室等からの参加枠を設定するとともに、子供たちを引率するスタッフの経費を支援する等により、参加しやすい環境を整備する。

・対象 小学4～6年生 2,000人

② リアル体験教室・プレミア（企業等の主体的実施）

県は、企業等が主体となって実施するリアル体験教室を「プレミア」として認定する。また、広報支援等を通し、体験機会の創出と気運の醸成を推進する。

・対象 小学生 3,000人

3 予算額 5,878千円

埼玉150周年記念事業の実施

担当 広聴広報課 魅力発信担当
内線 2849

1 目的

埼玉150周年を契機に、県民・市町村・企業・団体などあらゆる主体と連携・協働し、埼玉を『知る』『祝う』『伝える』の3つのコンセプトの下、埼玉の魅力を県内外に発信するとともに、埼玉を盛り上げる様々な取組を実施する。

2 事業内容

埼玉魅力発信戦略事業費（一部新規）

39,444千円

① 埼玉を『知る』

- ・ 埼玉150周年特設WEBサイトの充実
- ・ 県民参加型SNSキャンペーンの実施



② 埼玉を『祝う』

- ・ 埼玉150周年記念式典・イベントの開催
- ・ 官民連携による魅力発信事業の実施



③ 埼玉を『伝える』

- ・ 埼玉未来予想コンクールの実施
- ・ 県民参加型プロモーション『みんなで埼玉宣伝部』〈仮称〉の展開



など

3 予算額 39,444千円

埼玉の魅力を発信する文化プログラムの推進

担当 文化振興課 文化振興担当
文化創造・発信担当
内線 2882、2887

1 目的

オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもある。

埼玉の特徴を生かした文化イベントを実施することで、本県の文化芸術の振興と地域の活性化を図るとともに、埼玉の魅力を国内外に発信する。

2 事業内容

文化プログラムリーディング事業費（再掲）

70,918千円

埼玉WABI SABI大祭典2021の開催

平成29年度から実施してきたWABI SABI大祭典の集大成として、伝統芸能、着物、盆栽、生け花、茶道など、埼玉の「和」の文化を一堂に集めたイベントを開催する。

新型コロナウイルス感染拡大により発表の機会を失った文化芸術団体等に発表の場を提供する。

【開催日】令和3年9月4、5日（予定）

【開催場所】大宮公園ほか

【事業内容】

- ・特設ステージにおける盆栽パフォーマンスや伝統芸能などの上演
- ・着物、野点、盆栽、生け花等の体験やワークショップ、埼玉独自の民謡民舞体験、食のブース出展など
- ・開催時の新型コロナウイルス感染症対策



書道パフォーマンスの様子



盆栽パフォーマンスの様子

オール埼玉で彩る文化プログラム公募事業費

14,035千円

多彩な文化プログラムの開催支援

文化団体などが行う本県の目玉となる文化事業を公募・助成する。

○地域リーディングプログラム部門（上限300万円）

埼玉県版文化プログラムを進める上で核となり、先導的な役割を果たすレベルの高い事業を助成

○地域彩りプログラム部門（上限20万円）

県内各地で賑わいや活性化をもたらす意欲的で活発な事業を助成



NPO法人オペラ彩によるオペラ公演（助成事業）

3 予算額 84,953千円

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催

担当 オリンピック・パラリンピック課
 総務・企画担当
 内線 2893

1 目的

大会に関わるすべての人の安心安全を第一に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、史上初の開催延期とコロナ禍を乗り越えた新しい時代にふさわしい大会を目指すとともに、大会を契機に埼玉の魅力を広く発信する。

2 事業内容

東京オリンピック・パラリンピック推進事業費 1,840,532千円

① 東京オリンピック・パラリンピック推進事業管理運営費

- ・庁内推進会議等の運営
- ・広報・情報発信（県ホームページ、県広報紙） など

② 2020 オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ 2019 埼玉県推進委員会事業費（一部再掲）

- 気運醸成
 - ・大会期間中イベントの開催（ライブサイトと埼玉のPR）
 - ・聖火リレーの実施 など
- ボランティア事業
 - ・都市ボランティア活動の運営
 - ・環境美化 など
- キャンプ誘致・宿泊対策
 - ・事前トレーニングキャンプの受入
 - ・ホストタウン相手国との交流の実施 など
- 推進委員会運営費
 - ・大会報告書、記録映像の作成 など

③ ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業費（再掲）（新規）

- ・ホストタウンや事前キャンプ地での感染症対策の実施

3 予算額 1,840,532千円

スポーツ活動の推進

担当 スポーツ振興課 企画・生涯スポーツ担当
競技スポーツ担当

内線 6959、6955

1 目的

スポーツ科学の知見を活用し、トップアスリートの輩出を目指す。また、ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承や県内プロスポーツチーム等と連携したスポーツイベントを開催する。県民がスポーツに親しむ機会を充実させ、本県のスポーツ・レクリエーションの振興及び県民のスポーツ活動の充実を図る。

2 事業内容

スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出事業 38,898千円

次世代を担うアスリートを発掘し、スポーツ科学を活用した育成を通じて、将来、国際大会等で活躍するトップアスリートの輩出を目指す。

- ・小学5年生～中学3年生を対象にしたアスリートの発掘
- ・各年代に応じたアスリートの育成、指導者向け講習会の開催
- ・アスリートが競技活動に専念できる生活環境を整える就職支援

ラグビーワールドカップ2019大会レガシー継承事業 6,000千円

ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシーを継承するため、ラグビーを子供世代へ普及する。

- ・小学生へのタグラグビーの普及促進
- ・中学生等への放課後ラグビー教室の開催
- ・トップリーグチームと連携した子供ラグビー教室の開催

埼玉トップスポーツパートナーズ事業（一部新規） 3,432千円

プロスポーツチーム等と連携してスポーツ参画人口の拡大を図るとともに、県内スポーツチーム等を県民全体で応援する気運の醸成を図る。

- ・埼玉トップスポーツパートナーズの創設
- ・企業・プロチーム等と連携したプロスポーツ体験教室等を実施

スポーツインライフ推進事業（一部新規） 11,798千円

市町村やスポーツ団体と連携した大会の開催等を通じて、誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整備する。

- ・県民総合スポーツ大会の開催
- ・日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）と連携した各種イベントを実施

3 予算額 60,128千円

屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備の推進

担当 スポーツ振興課 総務・施設担当
内線 6951

1 目的

アスリートの競技力向上や県民の充実したスポーツライフを推進する拠点として、屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討を行う。

(1) 屋内50m水泳場

最先端の技術で水泳選手の競技力向上を推進するとともに、県民の体力・健康づくりをサポートする。国内主要大会の誘致が可能となり、水泳競技、スポーツの活性化に寄与する。

(2) スポーツ科学拠点施設

スポーツ科学の知見を活用し、アスリートの育成・支援を行うとともに、県民の充実したスポーツライフを支援することでより豊かな県民生活の実現に寄与する。

2 事業内容

屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業

15,183千円

整備検討に係る調査

<内容>

○事業手法等の検討

- ・公募型サウンディング調査
- ・施設の配置計画の検討
- ・事業手法の検討
- ・施設整備に向けた関係者との意見交換

3 予算額 15,183千円

基金を活用したNPO支援の推進

担当 共助社会づくり課 担い手支援担当
内線 2828

1 目的

共助の担い手を拡大し共助社会の実現を図るため、NPO基金（埼玉県特定非営利活動促進基金）を有効活用し、NPO法人が自発的・主体的に地域課題を解決しようとする取組を支援する。

2 事業内容

NPOによる共助社会づくり推進事業費（一部新規）

13,100千円

県内で活動するNPO法人に対して、これまでの活動分野に応じた支援に加え、時代の潮流に合ったメニュー（SDGs）及びNPOの成長段階に合わせた助成を行う。

<NPO活動サポート事業>

① スタートアップ事業

- ・設立から概ね3年以内のNPO法人の意欲的で将来性のある活動を助成
200千円×5団体＝1,000千円（補助率10/10）

② 特定分野事業

- ・子育て、環境などの分野で活動するNPO法人に助成
- ・NPO法人ならではの独創的なアイデアや先駆的な視点で実施する事業に対し支援
分野指定枠 上限1,000千円（補助率4/5）
寄附者によるネーミング枠 寄附額による（補助率10/10）

③ SDGs事業

- ・SDGsのゴールの一つである、「パートナーシップ」を持って取り組むNPO法人の事業を助成
- ・多様な主体と連携して効果的で幅広く成果が期待できる事業を支援
500千円×1団体＝500千円（補助率10/10）

3 予算額 13,100千円

LGBTQ等性の多様性の理解促進とアライの見える化

担当 人権推進課 企画・総務担当
内線 2255

1 目的

LGBTQ（性的少数者）に寄り添った取組を進め、LGBTQが自分らしく生き生きと活躍できる埼玉をつくる。

2 事業内容

LGBTQ支援事業（一部新規）

5,869千円

- ① 県や市町村の相談対応能力の向上
 - ・相談対応能力向上のための研修会を実施
- ② LGBTQハンドブックの作成
 - ・LGBTQに関する基礎知識や、窓口での対応等について記載した県職員や市町村職員向けハンドブックを作成
- ③ 県内企業向けに働きやすい職場づくりのための啓発
 - ・企業向けオンライン研修の実施
 - ・啓発パンフレットの作成
- ④ アライ（LGBTQを理解し支援したいと思う人）の見える化のためマグネットステッカー等を作成
 - ・レインボーカラーを活用したマグネットステッカーやポスターを作成し、身近にアライが存在する見える化

3 予算額 5,869千円